



北原モコットウナシ
選書コメント

安田浩一 / 学校では教えてくれない 差別と排除の話

ジャーナリストの著者が、外国人実習生、日本に長く暮らす在日外国人、沖縄への差別について取材し、「在日特権」の虚構性などを分かりやすい言葉で丁寧に説明した本。差別に向きあうための「小さな正義」という言葉が印象的。

moya moya

303BOOKS



北原モコットウナシ
選書コメント

原由利子 / 日本にレイシズムが あることを知っていますか？

人種・民族・出自差別をなくすために私たちができること

人種の問題だと思われがちな「レイシズム」は、フランス貴族の特権を説明するために生れた！そう聞くとレイシズムのいい加減さがよくわかる。「人種とは別」と思われがちな被差別部落、沖縄、在日の問題を取り上げ、アイヌのもかもやにも1章を割いて扱った書。

moya moya

303BOOKS



下地 ローレンス 吉孝 /

中学生の質問箱

「ハーフ」ってなんだろう？

あなたと考えたいイメージと現実

「日本には人種差別は無い」と断言する人は多い。それは「みんな同じだから」。でも「ハーフっていいよね」という声も多い。アイヌにも多い「ハーフ」とされる人々が感じる居心地の悪さ、それを生み出すしくみを解説。



信田 さよ子 /

加害者は変われるか？

—DVと虐待をみつめながら

カウンセリングの現場に立ち続ける著者が虐待、DV、性犯罪の加害と被害を解説。「DV 被害者は加害者意識に満ちている」「加害者は被害者意識に満ちている」という言葉が、加害・被害の構造を言い当てている。



上野千鶴子・田房永子／ 上野先生、フェミニズムについて ゼロから教えてください！

女性学の専門家と女性のもやもやを描き続けてきた漫画家の対談＋漫画解説。解説もイラストもわかりやすい。男性の特権性、女性に自由があるように見えて実際には選択肢がない状況が一瞬でわかる漫画・イラストに目を開かれる。



北村紗衣／ お砂糖とスパイスと爆発的な何か 不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門

タイトルの通り、入りやすく読みやすく、深く学べるフェミニスト批評入門書。名作として知られる小説や舞台、ドラマ、映画の、つい見逃してしまう「なぜ」をマイノリティの視点で掘り下げると、驚くほどの気づきが見えてくる。



北原モコットウナシ
選書コメント

溝口彰子 / BL研究者による ジェンダー批評入門

-言葉にならない「モヤモヤ」を言葉で語る
「ワクワク」に変える、表象分析のレッスン-

同性愛に好意的なはずの「BL 作品」も、表現1つで抑圧を強化してしまう。近年人気を得た漫画、ドラマ、映画など、私たちの身の回りにある作品を通じて、偏見に気づきなくしていく可能性を知る。



北原モコットウナシ
選書コメント

石原真衣 (編著) / 記号化される先住民 / 女性 / 子ども

先住民のフェミニズム、先住民の考古学、女性やアイヌなどマイノリティを描いた文学、台湾に対する植民地支配の歴史、ヤングケアラーなど、様々な領域でマイノリティ研究をする専門家の論集。数少ないアイヌのももやを扱った書。

ぼくらの非モテ研究会(編著)／
モテないけど生きてます
苦悩する男たちの当事者研究



北原モcottウナシ
選書コメント

「非モテ」に苦しむのはモテない男ばかりじゃない。「非モテ」をキーワードに、強者として見られる男性が感じるプレッシャーや苛立ちを解説。被害を感じている男性が、他のマイノリティに冷淡だったり、加害に転じてしまう仕組みもわかる1冊。

小川たまか／
「ほとんどない」ことに
されている側から見た社会の話を。



北原モcottウナシ
選書コメント

女性であり、マイノリティを中心に取材するライターである著者の視点から多くを学べる書。性加害について、マイノリティについて語る／書くことの難しさを考えさせられる。



上岡 陽江, 大嶋 栄子 /
その後の不自由
—「嵐」のあとを生きる人たち

依存症、DV被害者の実態とケア、嵐（被害の渦中）
を過ぎた後に何が必要かを詳説。



荒井 和子 /
先生はアイヌでしょ
～私の心の師～

戦後まもない北海道で、アイヌ女性の教員として教育
に取り組んだ著者の半生記。生々しい差別の実態と、
著者の向き合い方が記されている。